

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	乳幼児健康診査事業					事務事業コード	01805
部 名	健康づくり部	課 名	健康づくり課	係 名	保健係	部課コード	040400

1. 事業概要

総合計画コード	2521	2321				
事業年度	S 29 年度	~	H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input checked="" type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 母子保健法		
めざす目的成果	乳幼児の疾病や障害の早期発見と早期治療及び早期療育への結びつけができ、健全な発育・発達を促し、保護者が安心して子育てができるよう育児支援が行われている。					
事業内容	乳児(4か月児・10か月児)及び幼児(1歳6か月児・3歳児)に対する、健康診査及び保健指導を行う。					
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 乳児(4か月児・10か月児)及び幼児(1歳6か月児・3歳児)に対する健康診査及び、幼児(1歳6か月児・3歳児) 歯科健康診査を行う。					

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		4か月児健康診査:24回/年 10か月児健康診査:24回/年 1歳6か月児健康診査:24回/年 3歳児健康診査:24回/年 1歳6か月児歯科健康診査:24回/年 3歳児歯科健康診査:24回/年				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		18,509	19,314	17,415	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	18,509	19,314	17,415		
	b 人件費	24,182	13,190	12,824		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	42,691	32,504	30,239		
投入労働量		常勤職員等(人工)	3.30 人	1.80 人	1.75 人	
		一般職非常勤職員等(時間)	3,724 時間	3,580 時間	3,580 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		報酬 4,278千円、報償費 11,692千円、旅費 125千円、需用費 247千円、役務費 46千円、委託料 1,027千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 乳幼児健康診査実施回数	回	96 (96)	96 (—)	96 (—)	H 32 年度
	②		()	(—)	(—)	H 年度
成 果	① 乳幼児健康診査受診率	%	95 (95)	95 (—)	95 (—)	H 32 年度
	②		()	(—)	(—)	H 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 母子保健法を根拠に実施している、乳幼児の健康診査事業である。乳幼児の健康管理のみならず、子育て支援、虐待予防等、社会的にも優先度の高い課題であり、必要性の高い事業である。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 各乳幼児健診の受診率は95%以上の高い水準を保っている。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 乳幼児健康診査により、疾病や障害の早期発見・早期治療及び早期療育へつなぐことにより、保護者が安心して子育てができた。 参加と協働: 個別通知や広報・ホームページ等による母子保健サービスの情報を市民へ提供した。 経営的な視点: さらなる受診率向上のための運営方法の見直しや事後フォロー体制の強化した。			
	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
見直し 余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 乳幼児健診については、母子保健の視点と、児童虐待予防の視点から、健診の未受診者の把握及び、その支援のあり方について、関係各課と連携して対応していく必要がある。また、健診を受ける際には、乳幼児ファイルを保護者に渡して健診会場を回ってもらうが、個人情報保護の観点から見直しを実施し、スタッフ側が乳幼児ファイルを管理を行った。そのためか、保護者が健診会場から離れてしまったり医師診察の場に不在なったりするなどといった問題が起きた。今後、対策が必要である。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期: H 30 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	平成28年度より、試験的に受診時の乳幼児ファイルの取り扱いの見直しを行ったが、その際、保護者が健診会場から離れたり、医師診察の際にも不在になってしまう問題が発生した。個人情報保護の観点からも乳幼児ファイルはスタッフが管理することが望ましいため、扱いは現状のままとするが、健診をスムーズに運営するためには、保護者への声掛けの強化や必要時誘導が必要である。今後、状況をみながら誘導等の対応を実施していく。			